千葉市科学フェスタ 2017 参加報告

2017 年 10 月 7 日（土）、8 日（日）の 2 日間、千葉市科学館 Qiball（きぼーる）にて千葉市科学フェスタ 2017 が開催されました。若手研究会は「放射線（ほうしゃせん）を科学する！」というテーマでブース出展し、①身の周りの放射線の測定、②汚染検査体験、③霧箱による放射線観測、④暮らしの放射線 Q&A の紹介を行いました。

①では、暮らしを便利にするために、かつてはカメラのレンズ、夜光時計、ウランガラス、マントルピースといった製品に放射性物質が添加されていたことを紹介し、実際にサーベイメータによる放射線の測定体験を行いました。また、鉛含有ゴムによる遮蔽で計数値が減少することや、サーベイメータを放射線源から離すことで計数値が減少することも実感してもらいました。

②では、マントルピースを線源とした模擬汚染板を用いて、サーベイメータでマントルピースの位置を特定するゲームを行いました。位置を特定できた方にプレゼントするために、汚染検査を見事やり遂げたことを称える A7 サイズの認定証を用意したところ、子供たちに好評で、認定証のためにわざわざブースに足を運んでくれる子供もいたほどでした。

③では、霧箱により放射線の飛跡を実際に見てもらいました。これは子供に限らず大人の方にも大変好評で、多くの親子がそろって霧箱を覗き込んでいました。サーベイメータによる「測定」と霧箱による「観察」をセットで行うことで、より印象に残る体験をしてもらえたと感じています。

④では、暮らしの放射線 Q&A の紹介を行うとともに、放射線や放射性物質に関する疑問・質問に対してもお答えしました。福島第一原子力発電所事故から 6 年半が経った今でも、多くの方が不安を抱えていらっしゃり、それを取り除く一助になったのではないかと思います。

今回のブース出展を通して、子供たちには、それまでは未知の存在であった「放射線」が身近な存在であることを知ってもらい、また、大人の方には「放射線」についての知識を深めてもらうことができたのではないかと感じています。我々出展者としても、疑問・質問に対する受け答えや出展者同士の交流など、貴重な経験ができました。若手研究会としては、来年度以降も継続して千葉市科学フェスタへ出展し、一般の方々との交流を行っていきたいと考えています。なお、当日の千葉市科学フェスタの様子は若手研究会の Facebook ページ（https://www.facebook.com/wakate.jhps/）にも掲載されておりますので、是非ご覧ください。

サーベイメータによる測定体験

霧箱による飛跡の観察

ブース出展者（1 日目）

ブース出展者（2 日目）

（国研）日本原子力研究開発機構　中嶌純也